

# データヘルス計画

## 第3期計画書

---

最終更新日：令和6年03月21日

公立学校共済組合福島支部

# STEP 1 - 1 基本情報

コード	100007
支部名称	福島
形態	総合
業種	公務

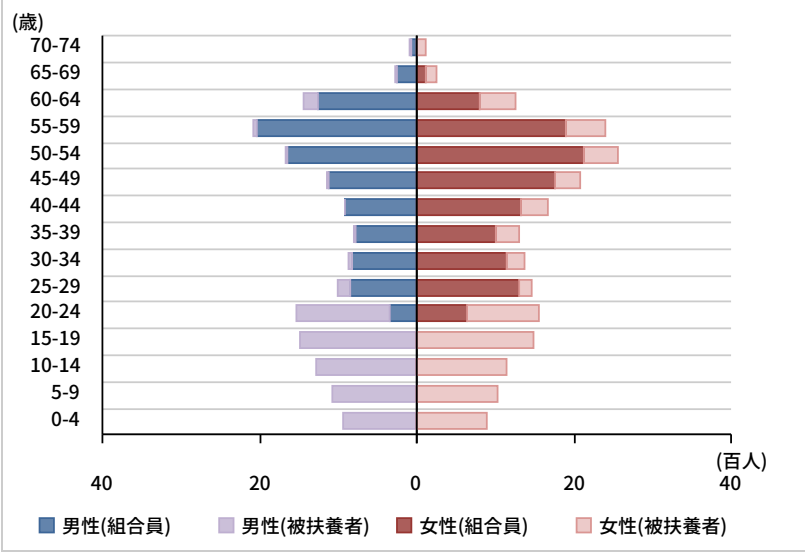
	令和6年度見込み	令和7年度見込み	令和8年度見込み
組合員数	22,172名 男性45.3% (平均年齢47.5歳) 女性54.6% (平均年齢44.4歳)	-名 男性-% (平均年齢-歳) 女性-% (平均年齢-歳)	-名 男性-% (平均年齢-歳) 女性-% (平均年齢-歳)
任意継続組合員数	482名	-名	-名
被扶養者数	14,992名	-名	-名
事業主数	74カ所	-カ所	-カ所
所属所数	737カ所	-カ所	-カ所
保険料率 *調整を含む	2.82‰	-‰	-‰

		共済組合の医療専門職					
		令和6年度見込み		令和7年度見込み		令和8年度見込み	
		常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)
共済組合	顧問医	0	0	-	-	-	-
	保健師等	0	0	-	-	-	-
事業主	産業医	0	1	-	-	-	-
	保健師等	1	0	-	-	-	-

		第3期における基礎数値	
特定健康診査実施率 (特定健康診査実施者数： 特定健康診査対象者数)	全体	14,339 / 16,905 = 84.8 %	
	組合員	12,950 / 14,100 = 91.8 %	
	被扶養者	1,116 / 2,364 = 47.2 %	
特定保健指導実施率 (特定保健指導実施者数： 特定保健指導対象者数)	全体	965 / 2,419 = 39.9 %	
	組合員	947 / 2,265 = 41.8 %	
	被扶養者	15 / 112 = 13.4 %	

		令和6年度見込み		令和7年度見込み		令和8年度見込み	
		予算額(千円)	組合員一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	組合員一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	組合員一人 当たり金額 (円)
保健事業費	特定健康診査費	221,720	10,000	-	-	-	-
	特定保健指導費	29,421	1,327	-	-	-	-
	一般事業費 (教養・文化関係)	634	29	-	-	-	-
	健康管理事業費	115,898	5,227	-	-	-	-
	一般事業費 (体育関係)	0	0	-	-	-	-
	一般事業費 (保養関係)	25,591	1,154	-	-	-	-
	その他	3,698	167	-	-	-	-
	小計 …a	396,962	17,904	0	-	0	-
経常支出合計 …b	449,387	20,268	-	-	-	-	
a/b×100 (%)	88.33		-	-	-	-	

令和6年度見込み



令和7年度見込み



令和8年度見込み



## 男性（組合員）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	0人	15～19	4人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	346人	25～29	837人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	823人	35～39	768人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	904人	45～49	1,115人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	1,639人	55～59	2,040人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	1,256人	65～69	252人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	63人			70～74	-人			70～74	-人		

## 女性（組合員）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	0人	15～19	3人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	639人	25～29	1,292人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	1,154人	35～39	1,004人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	1,315人	45～49	1,767人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	2,119人	55～59	1,902人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	795人	65～69	116人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	9人			70～74	-人			70～74	-人		

## 男性（被扶養者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	927人	5～9	1,079人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	1,283人	15～19	1,491人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	1,183人	25～29	163人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	46人	35～39	16人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	8人	45～49	17人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	28人	55～59	38人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	188人	65～69	19人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	19人			70～74	-人			70～74	-人		

## 女性（被扶養者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	899人	5～9	1,034人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	1,146人	15～19	1,485人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	917人	25～29	167人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	222人	35～39	300人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	334人	45～49	324人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	439人	55～59	503人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	448人	65～69	144人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	125人			70～74	-人			70～74	-人		

### 基本情報から見える特徴

- ・組合員は、男性より女性の割合が高く（9.3ポイント上回る）、平均年齢は男性より女性が低い（3.1歳下回る）
- ・対象となる拠点数（学校数）は、統廃合により年々減少傾向
- ・医療職の配置は、事業主において、非常勤産業医1名、常勤保健師1名
- ・特定健康診査実施率は、組合員は目標を達成している
- ・特定保健指導実施率は、組合員及び被扶養者とも目標を大幅に下回っている
- ・扶養者の総数は男性より女性の数が多い、年齢別で見ると0～24歳では男性が多く、25歳以降は女性が多くなる

## STEP 1 - 2 保健事業の実施状況

---

### 保健事業の整理から見える特徴

- ・特定健康診査及び特定保健指導実施率は増加傾向ではあるが目標値は達成されていない
- ・内臓脂肪症候群該当者割合が増加傾向
- ・運動習慣のない人は減少傾向ではあるが目標値は達成されていない
- ・インセンティブ事業への参加者が固定化されている

### 事業の一覧

#### 職場環境の整備

予算措置なし	コラボヘルス
--------	--------

#### 加入者への意識づけ

#### 個別の事業

特定健康診査事業	特定健康診査
特定保健指導事業	特定保健指導

#### 事業主の取組

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業目標	対象者				事業費(千円)	振り返り			注2) 評価
				対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
職場環境の整備												
予算措置なし	1,2	コラボヘルス	共済事業について、事業主である教育委員会と連携することで、効果的な事業を展開する	全て	男女	- ~ (上限なし)	加入者全員	0	・保健事業について教育委員会と健康課題を共有し、所属長に会議等を通じて周知している	・人間ドック、特定健康診査及び特定保健指導等の支部事業について、就業時間内、職専で実施 ・特定保健指導においては学校訪問型での実施をしている	・管理職に周知をしているが、所属ごとに対応が異なる ・特定保健指導については、周知のほか業務配慮いただくようお願いしているが、利用率に繋がらない	3
加入者への意識づけ												
個別の事業												
特定健康診査事業	1,3	特定健康診査	高齢者の医療の確保に関する法律第20条に基づき、生活習慣病（高血圧、高血糖、脂質異常症など）の早期発見・予防のために実施なお、職場での健診により結果が得られている場合は、その結果を用いている	全て	男女	40 ~ 74	加入者全員	221,720	【組合員】 ・各事業主健康診査及び人間ドック（4月～翌年2月） 【被扶養者及び任意継続組合員】 ・セット券送付（受診期間：7月～翌年1月末）※本部一括契約の利用 ・未受診者に受診勧奨のハガキを送付（12月）※本部一括契約の利用 40歳については支部より健康情報提供も同封して、封書で送付  〈評価指標〉 実施率（組合員） 91.8% 事業主健診等データの回収率 96.5% 実施率（被扶養者） 47.2% 内臓脂肪症候群該当者割合 14.7% 運動習慣のない人 76.7%	【組合員】 ・各健診実施機関と「特定健診データの作成、送付等に係る費用の詳細について」を締結し、XMLデータでの提供及び費用を定めている 【被扶養者及び任意継続組合員】 ・返信用封筒をセット券と一緒に送付することで、他制度で受診した健診結果を送付いただいている	・エラーデータの修正	4
特定保健指導事業	4	特定保健指導	特定健診の結果、健診の保持に努める必要がある人を対象に、生活習慣病を改善するための指導を実施する	全て	男女	40 ~ 74	基準該当者	29,421	【組合員】 ・本部一括契約の利用（学校訪問型、個別訪問型）※本部一括契約の利用 【被扶養者及び任意継続組合員】 ・集合契約 ・対象者に利用券を送付 【共通】 ・人間ドック実施医療機関と個別契約をし、当日指導を実施  〈評価指標〉 ・実施率 39.9% ・人間ドック当日に特定保健指導を実施できる医療機関数 19医療機関（R5年度） ・特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率 26.4% ・内臓脂肪症候群該当者割合 14.7% ・運動習慣のない人 76.7%	【組合員】 学校訪問型、個別訪問型で積極的に勧奨 【被扶養者及び任意継続組合員】 【共通】 中断者に再利用勧奨のお知らせ送付 【医療機関】 契約書送付時にデータヘルス目標値及び実施率の推移を情報提供し、協力を依頼した	【組合員】 多忙等により初回面談に繋がらない、利用開始しても途中終了（脱落）してしまう 【被扶養者及び任意継続組合員】 利用できる実施機関に地域差がある	4

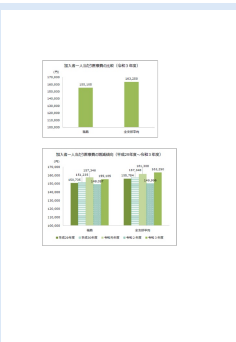
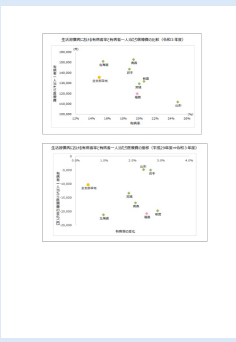
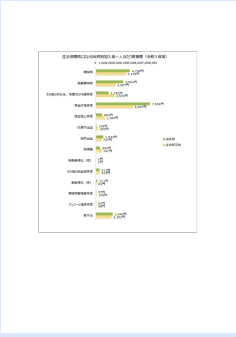
注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導・受診勧奨 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 後発医薬品の使用促進 8. その他の事業

注2) 1. 39%以下 2. 40%以上 3. 60%以上 4. 80%以上 5. 100%





事業名	事業の目的および概要	対象者			振り返り			共同 実施
		資格	性別	年齢	実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
事業主の取組								




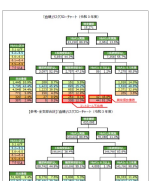
# STEP 1-3 基本分析

## 登録済みファイル一覧

記号	ファイル画像	タイトル	カテゴリ	コメント
ア		ア 加入者一人当たり医療費（生活習慣病）	医療費・患者数分析	生活習慣病における加入者一人当たり医療費の推移（平成29年度～令和3年度）
イ		イ 有病率及び有病者一人当たり医療費（生活習慣病）	医療費・患者数分析	生活習慣病における有病率及び有病者一人当たり医療費の推移（平成29年度～令和3年度）
ウ		ウ 疾患別加入者一人当たり医療費（生活習慣病）	医療費・患者数分析	生活習慣病における疾患別加入者一人当たり医療費（令和3年度）



工		工 疾病別加入者一人当たり医療費の経年変化（生活習慣病）	医療費・患者数分析	生活習慣病における疾病別加入者一人当たり医療費の推移（平成29年度～令和3年度）
才		才 有病者率、有病者一人当たり医療費の変化（生活習慣病）	医療費・患者数分析	生活習慣病における有病率と有病者一人当たり医療費の推移（平成29年度～令和3年度）
力		力 問診における生活習慣の割合（男女合計）	健康リスク分析	男女合計の問診における生活習慣の割合の年度別比較（平成29年度、令和3年度）
キ		キ 特定健康診査実施率（被扶養者）	特定健診分析	被扶養者の特定健康診査実施率の推移（平成29年度～令和3年度） 被扶養者の特定健康診査年代別実施率（令和3年度）

ク		ク 特定保健指導実施率（組合員）	特定保健指導分析	組合員の特定保健指導実施率の推移（平成29年度～令和3年度） 組合員の特定保健指導の年代別実施率（令和3年度）
ケ		ケ 特定保健指導実施率（被扶養者）	特定保健指導分析	被扶養者の特定保健指導実施率の推移（平成29年～令和3年） 被扶養者の特定保健指導の年代別実施率（令和3年度）
コ		コ リスク状況（血圧）	健康リスク分析	「血圧」リスク状況（令和3年度）
サ		サ リスク状況（血糖）	健康リスク分析	「血糖」リスク状況（令和3年度）

シ		シ 加入者一人あたり医療費（悪性新生物）	医療費・患者数分析	悪性新生物における加入者一人あたり医療費の推移（平成29年度～令和3年度）
ス		ス 有病率と有病者一人当たりの医療費（悪性新生物）	医療費・患者数分析	悪性新生物における有病率と有病者一人当たりの医療費の推移（平成29年度～令和3年度）
セ		セ 疾患別加入者一人当たりの医療費（悪性新生物）	医療費・患者数分析	悪性新生物における疾患別加入者一人当たりの医療費（令和3年度）
ソ		ソ 疾患別加入者一人当たりの医療費経年変化（悪性新生物）	医療費・患者数分析	悪性新生物における疾患別加入者一人当たりの医療費の推移（平成29年度～令和3年度）

夕

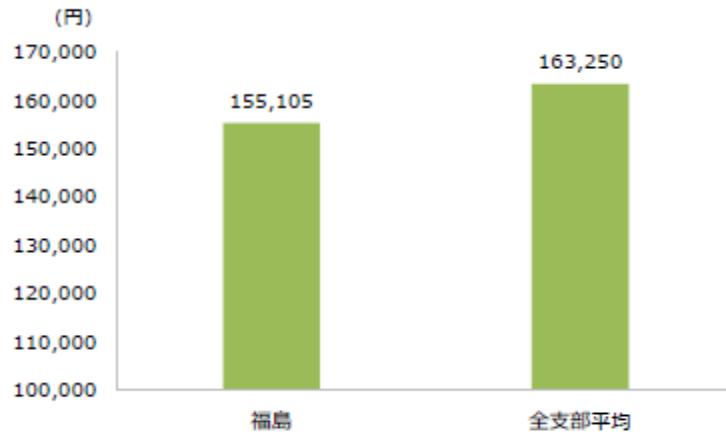
The image contains two small tables, one above the other, both with green headers. The top table has columns for '疾患別' (Disease Type), '患者数' (Number of Patients), '医療費' (Medical Costs), and '経年変化' (Year-over-Year Change). The bottom table has columns for '疾患別' (Disease Type), '患者数' (Number of Patients), '医療費' (Medical Costs), and '患者数分析' (Patient Analysis).

夕 疾患別有病者率と有病者一人当たり医療費の経年変化  
(悪性新生物)

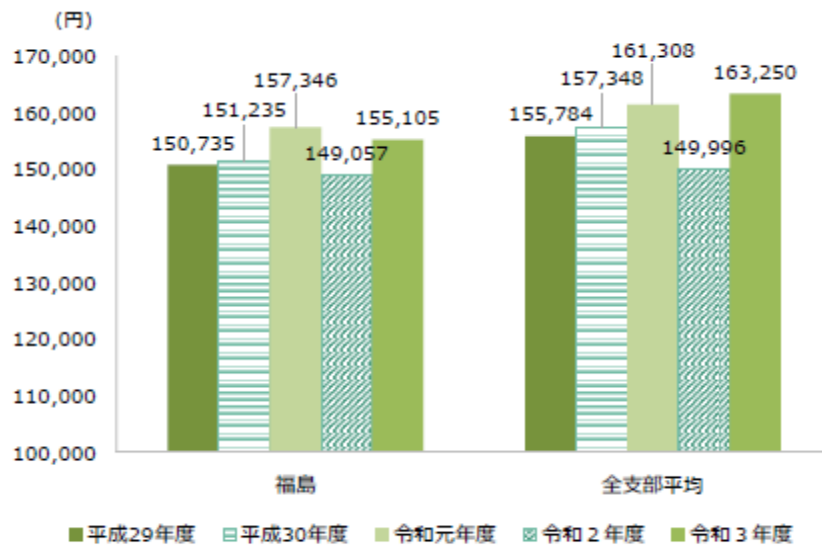
医療費・患者数分析

悪性新生物における疾患別有病者率と有病者一人当たり医療費の推移(平成29年度～令和3年度)

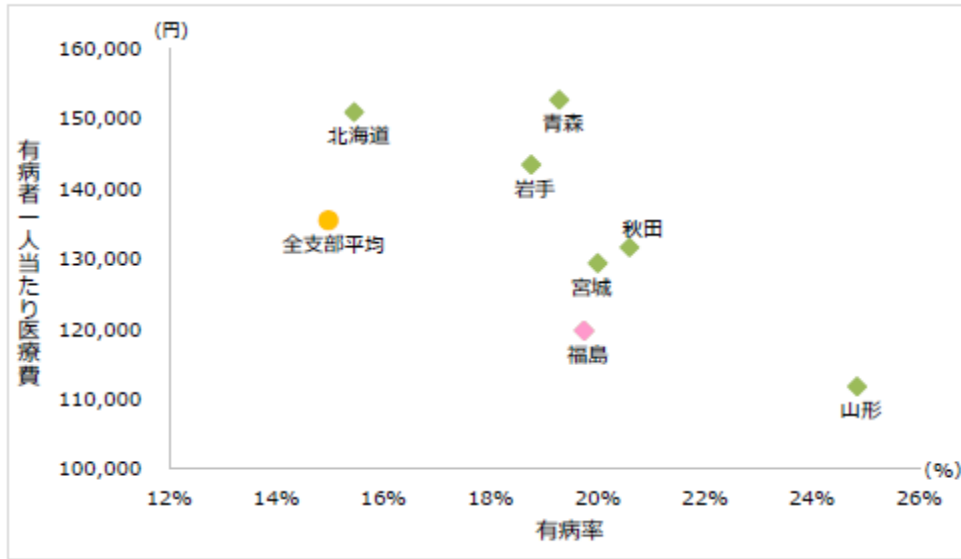
加入者一人当たり医療費の比較（令和3年度）



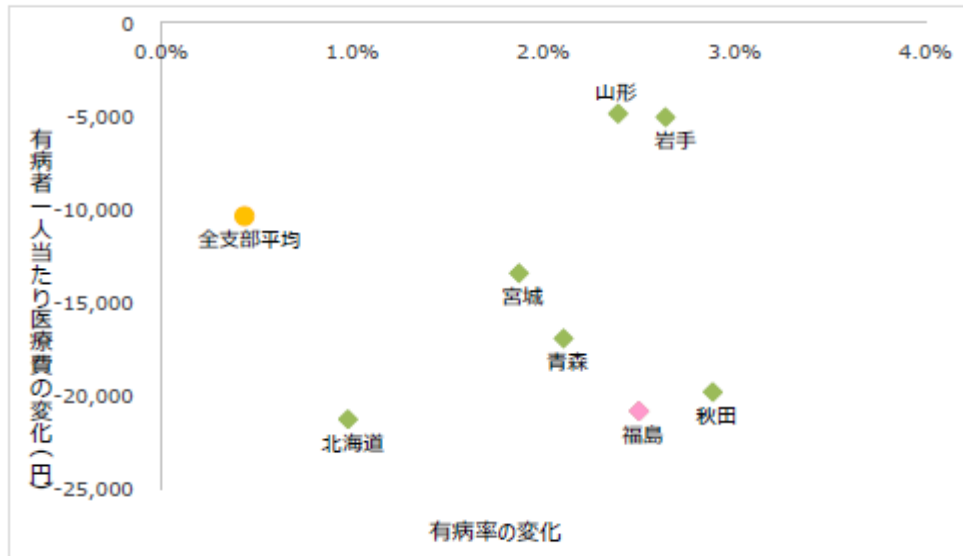
加入者一人当たり医療費の増減傾向（平成29年度～令和3年度）



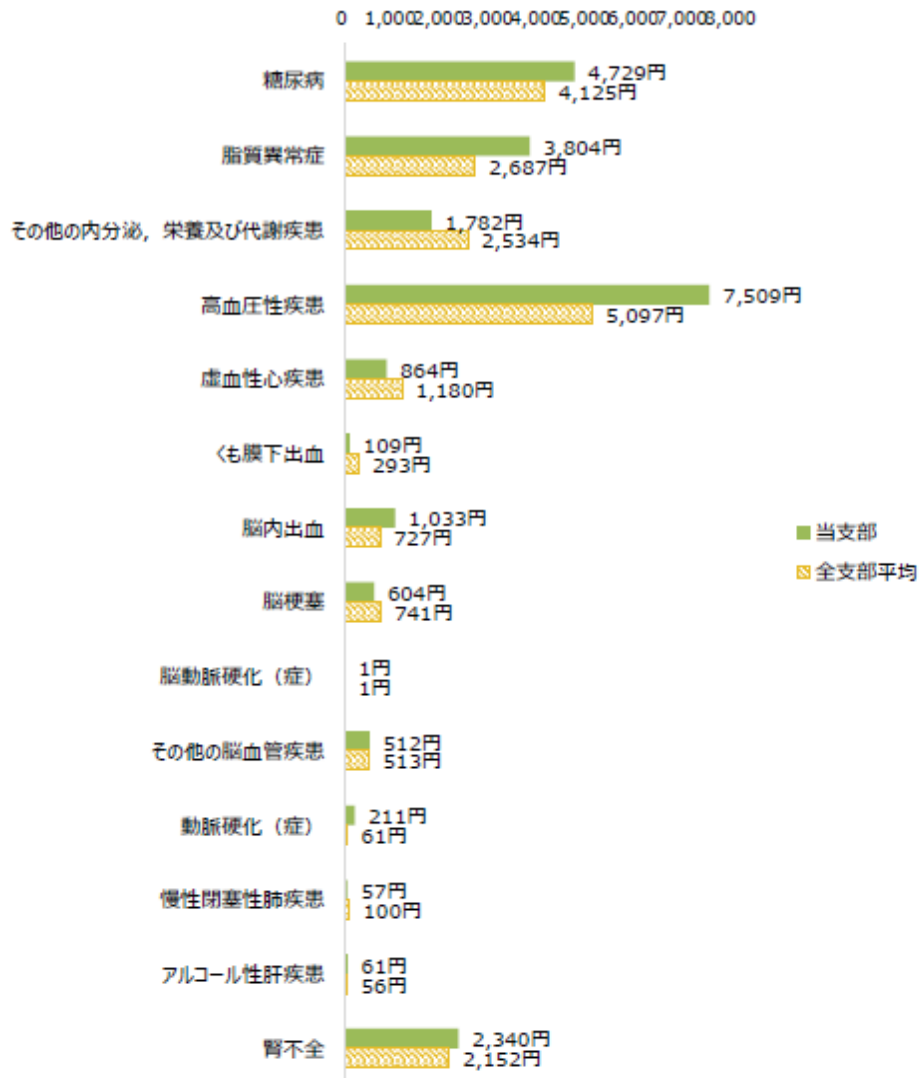
生活習慣病における有病者率と有病者一人当たり医療費の比較（令和3年度）



生活習慣病における有病者率と有病者一人当たり医療費の推移（平成29年度⇒令和3年度）



生活習慣病における疾病別加入者一人当たり医療費（令和3年度）



生活習慣病における加入者一人当たり医療費の推移（平成29年度⇒令和3年度）

	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度		傾向 (平成29年度比)
糖尿病	4,431円	4,301円	4,390円	4,932円	4,729円	-	↑	298円
脂質異常症	3,115円	3,207円	3,338円	3,566円	3,804円	-	↑	689円
その他の内分泌, 栄養及び代謝疾患	1,971円	1,684円	1,774円	1,672円	1,782円	-	↓	△189円
高血圧性疾患	7,519円	7,335円	7,567円	7,310円	7,509円	-	→	△10円
虚血性心疾患	1,759円	1,339円	1,191円	1,115円	864円	-	↓	△895円
くも膜下出血	368円	339円	444円	217円	109円	-	↓	△259円
脳内出血	578円	901円	763円	824円	1,033円	-	↑	455円
脳梗塞	576円	654円	401円	653円	604円	-	↑	28円
脳動脈硬化（症）	0円	0円	0円	4円	1円	-	↑	1円
その他の脳血管疾患	466円	516円	621円	663円	512円	-	↑	46円
動脈硬化（症）	94円	22円	22円	16円	211円	-	↑	117円
慢性閉塞性肺疾患	65円	92円	98円	81円	57円	-	↓	△8円
アルコール性肝疾患	19円	22円	45円	45円	61円	-	↑	42円
腎不全	3,257円	2,990円	3,190円	3,026円	2,340円	-	↓	△917円



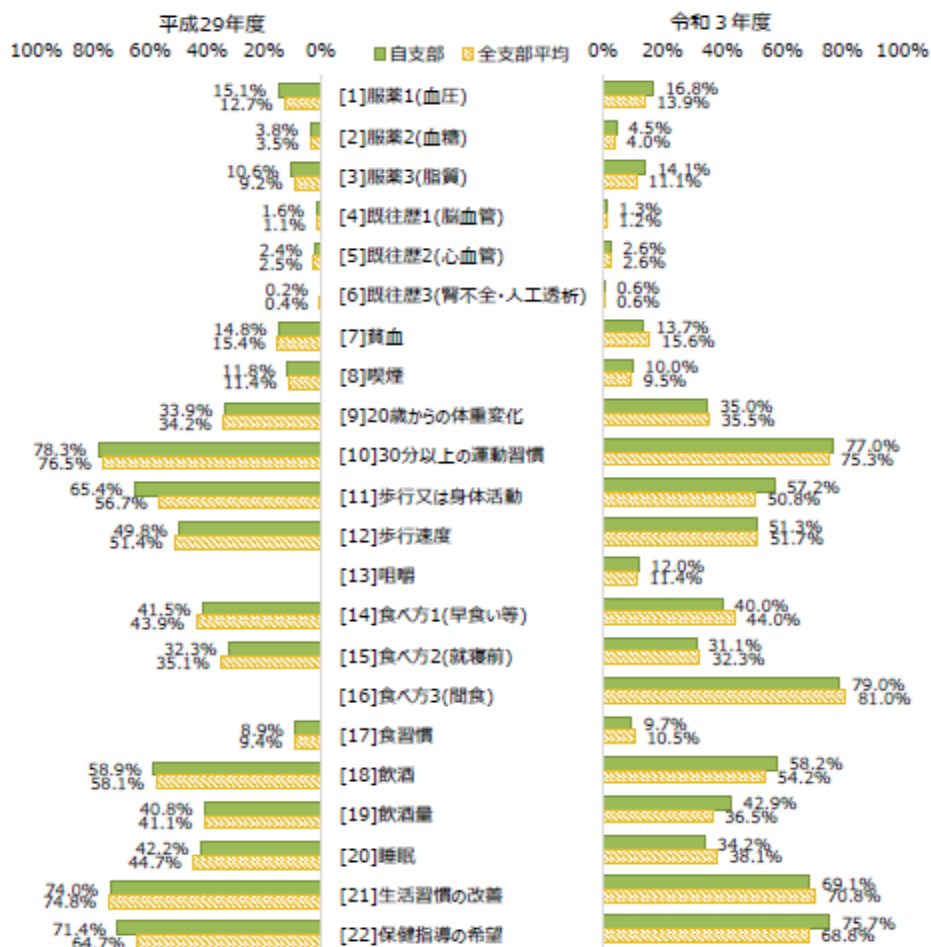
生活習慣病における有病者率（平成29年度⇒令和3年度）

	有病者率						傾向
	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	
糖尿病	2.10%	2.22%	2.23%	2.40%	2.38%	-	↑
脂質異常症	5.23%	5.56%	5.96%	6.81%	6.71%	-	↑
その他の内分泌、 栄養及び代謝疾患	1.91%	2.09%	2.20%	2.12%	2.17%	-	↑
高血圧性疾患	6.83%	7.02%	6.98%	7.54%	7.57%	-	↑
虚血性心疾患	0.83%	0.80%	0.78%	0.77%	0.75%	-	↓
くも膜下出血	0.05%	0.05%	0.06%	0.04%	0.03%	-	↓
脳内出血	0.05%	0.08%	0.11%	0.10%	0.09%	-	↑
脳梗塞	0.36%	0.43%	0.38%	0.38%	0.34%	-	↓
脳動脈硬化（症）	0.01%	0.00%	0.00%	0.01%	0.01%	-	→
その他の脳血管疾患	0.74%	0.67%	0.87%	0.72%	0.69%	-	↓
動脈硬化（症）	0.07%	0.08%	0.07%	0.07%	0.10%	-	↑
慢性閉塞性肺疾患	0.21%	0.27%	0.29%	0.18%	0.15%	-	↓
アルコール性肝疾患	0.04%	0.07%	0.05%	0.05%	0.05%	-	↑
腎不全	0.14%	0.14%	0.17%	0.16%	0.18%	-	↑

生活習慣病における有病者一人当たり医療費の変化（平成29年度⇒令和3年度）

	有病者一人当たり医療費						増減
	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	
糖尿病	210,946円	193,610円	197,133円	205,217円	198,445円	-	△12,500円
脂質異常症	59,537円	57,716円	56,014円	52,374円	56,662円	-	△2,874円
その他の内分泌、 栄養及び代謝疾患	103,110円	80,555円	80,481円	78,927円	82,040円	-	△21,070円
高血圧性疾患	110,161円	104,532円	106,444円	96,987円	99,249円	-	△10,912円
虚血性心疾患	211,667円	167,873円	152,373円	145,406円	114,937円	-	△96,730円
くも膜下出血	745,077円	672,833円	739,160円	572,563円	330,277円	-	△414,801円
脳内出血	1,054,483円	1,073,956円	720,304円	799,961円	1,177,059円	-	122,576円
脳梗塞	159,166円	153,673円	105,425円	169,796円	177,572円	-	18,406円
脳動脈硬化（症）	5,070円	-	2,880円	52,497円	25,130円	-	20,060円
その他の脳血管疾患	62,905円	76,472円	71,402円	91,699円	74,642円	-	11,737円
動脈硬化（症）	131,217円	26,450円	29,460円	22,117円	213,233円	-	82,016円
慢性閉塞性肺疾患	31,333円	33,979円	33,264円	44,412円	38,046円	-	6,713円
アルコール性肝疾患	49,499円	32,489円	91,738円	83,005円	130,801円	-	81,302円
腎不全	2,375,211円	2,137,326円	1,921,707円	1,861,431円	1,312,612円	-	△1,062,599円

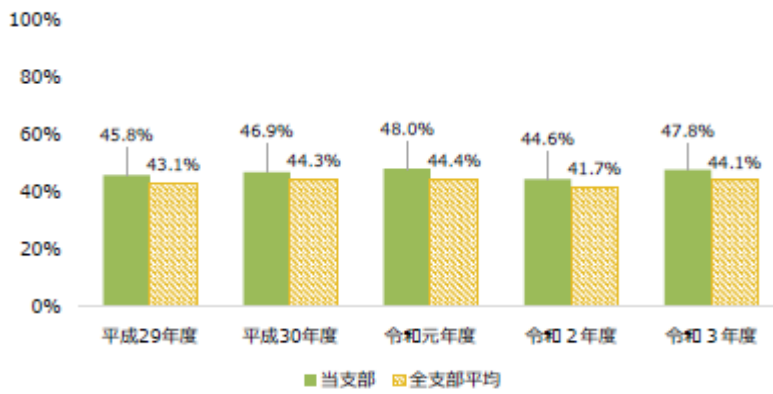
男女合計\_問診における生活習慣の割合（平成29年度・令和3年度）



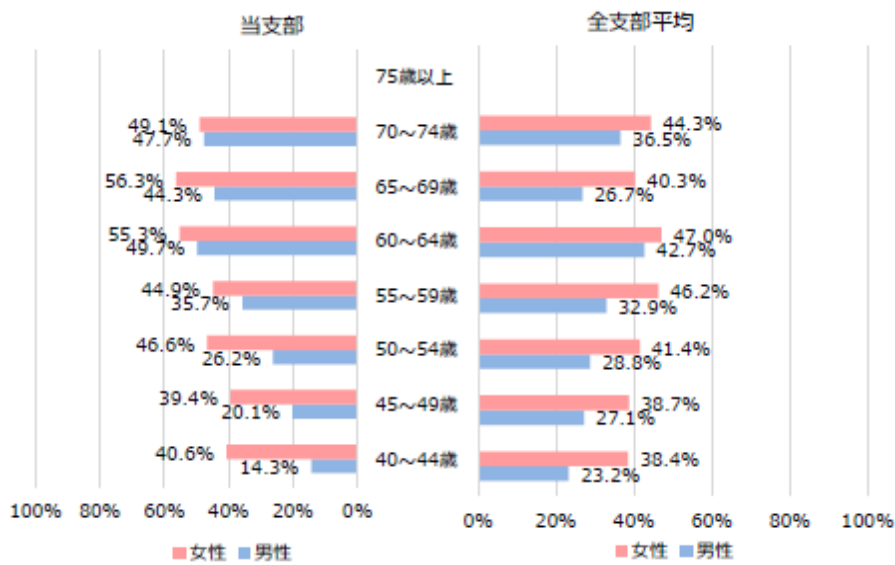
※1.問診の回答において、割合が高いほど良い生活習慣を表している

※2.平成29年度は問診項目の中に咀嚼がなかったため結果なし。また、食べ方3(間食)は質問内容が異なっていたため比較対象から除外

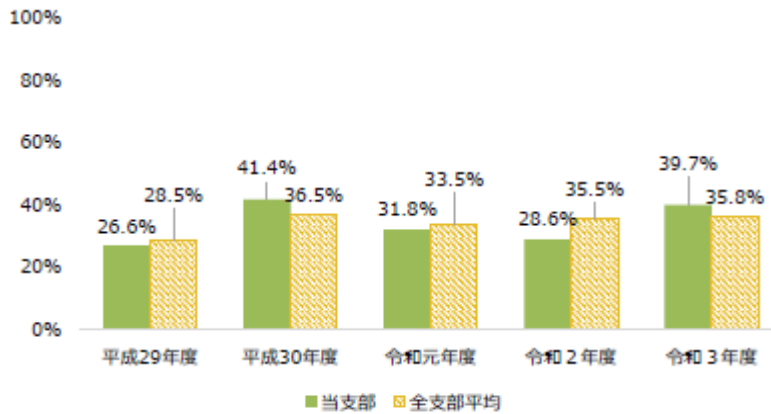
被扶養者における特定健康診査実施率<sup>※2</sup>の推移（平成29年度～令和3年度）



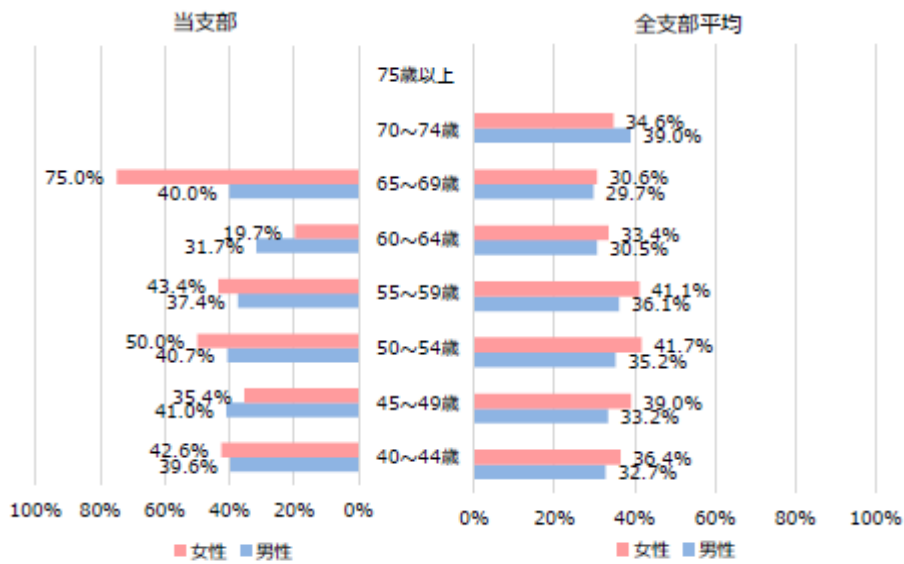
年代・男女別 被扶養者における特定健康診査実施率<sup>※3</sup>（令和3年度）



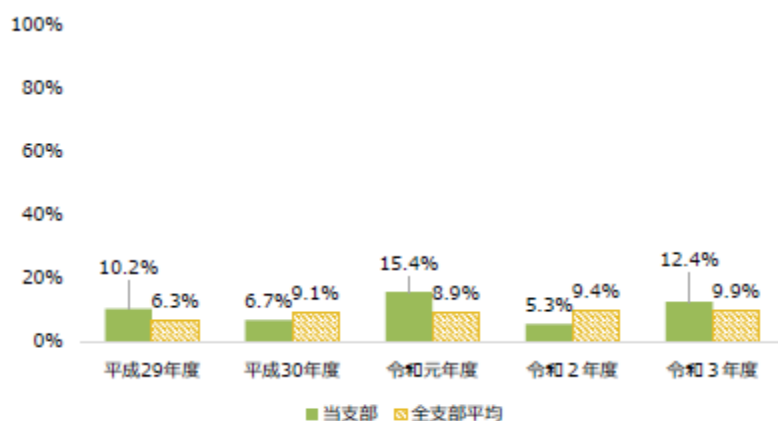
組合員における特定保健指導実施率<sup>※4</sup>の推移（平成29年度～令和3年度）



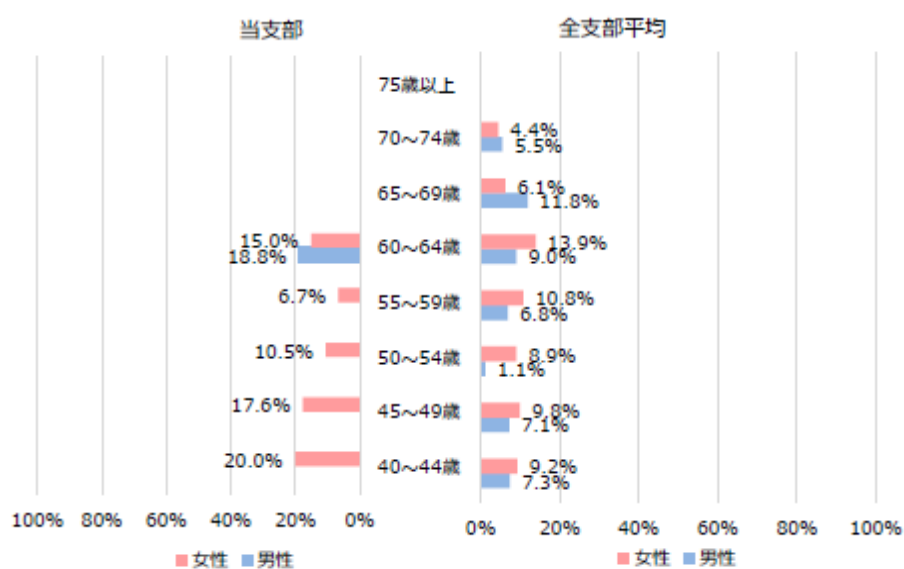
年代・男女別 組合員における特定保健指導実施率<sup>※5</sup>（令和3年度）



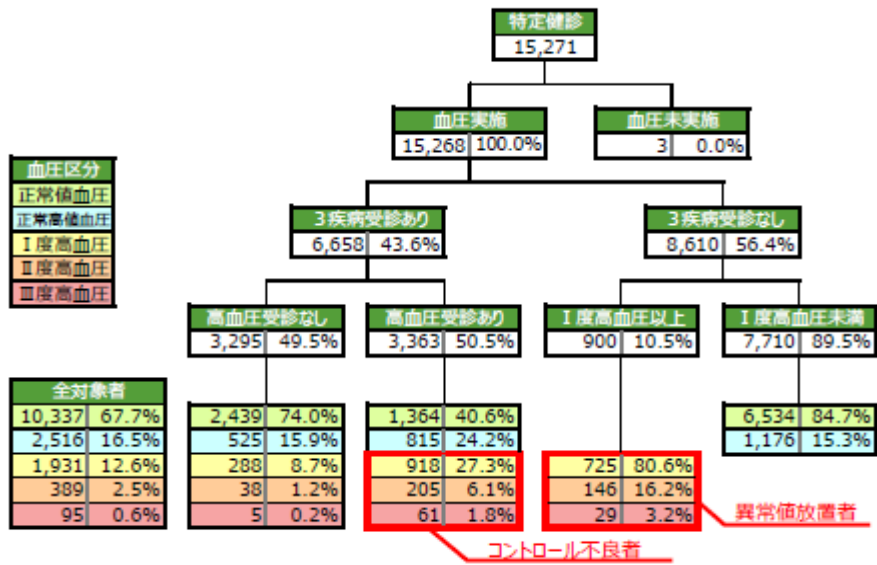
被扶養者における特定保健指導実施率<sup>※4</sup>の推移（平成29年度～令和3年度）



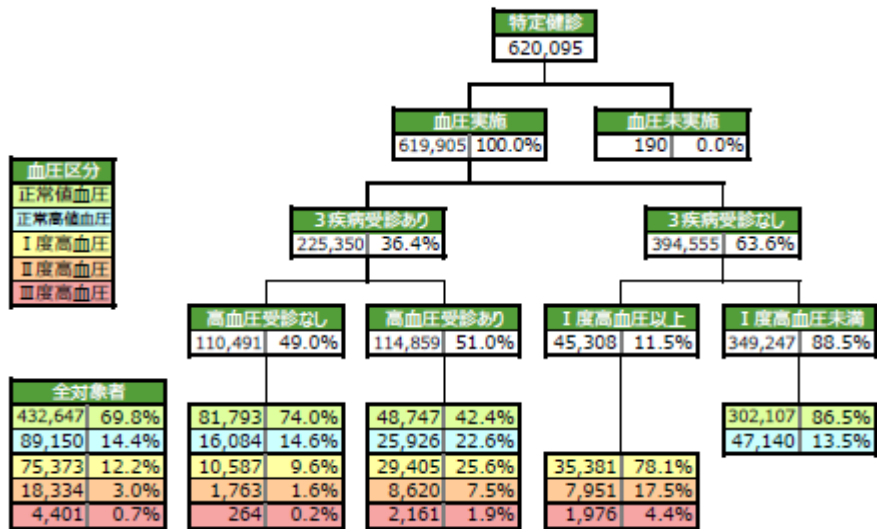
年代・男女別 被扶養者における特定保健指導実施率<sup>※5</sup>（令和3年度）



「血压」リスクフローチャート（令和3年度）

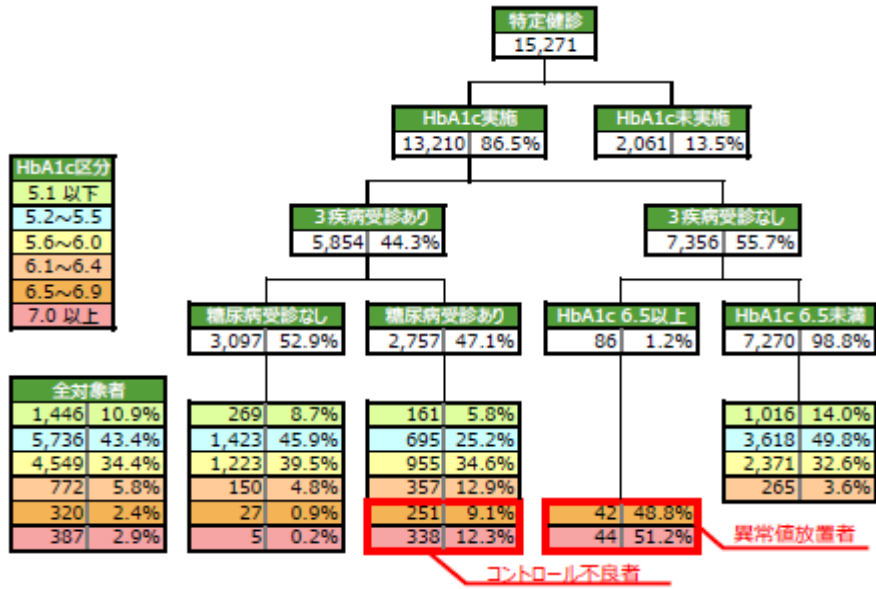


【参考・全支部合計】「血压」リスクフローチャート（令和3年度）

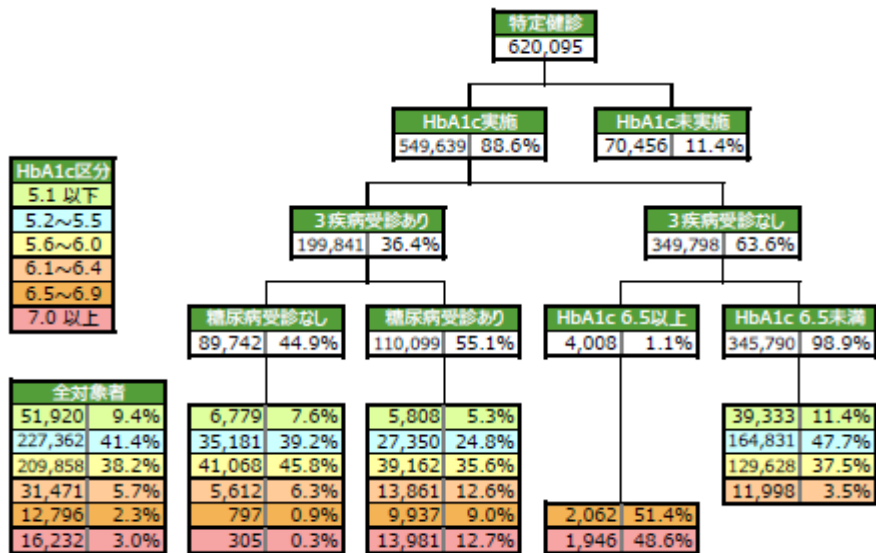


※1. 同性の双子は受診判定が正確にできないため、双子全体を除外

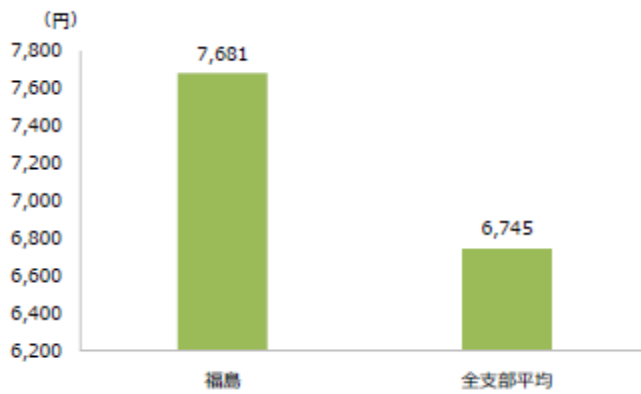
「血糖」リスクフローチャート（令和3年度）



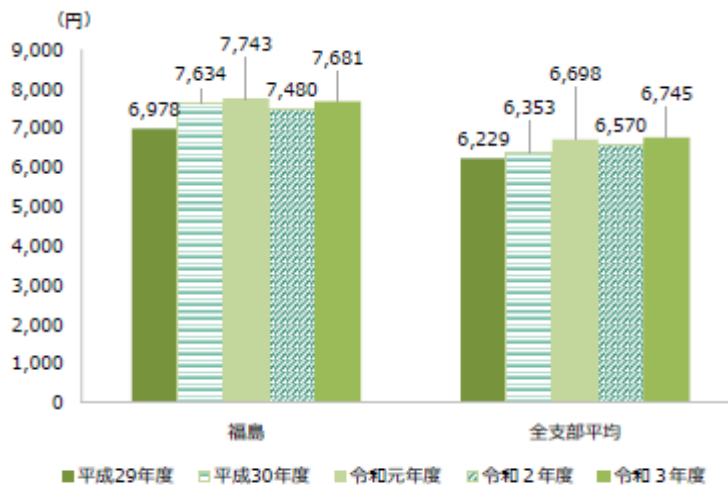
【参考・全支部合計】「血糖」リスクフローチャート（令和3年度）



加入者一人当たり医療費の比較（令和3年度）

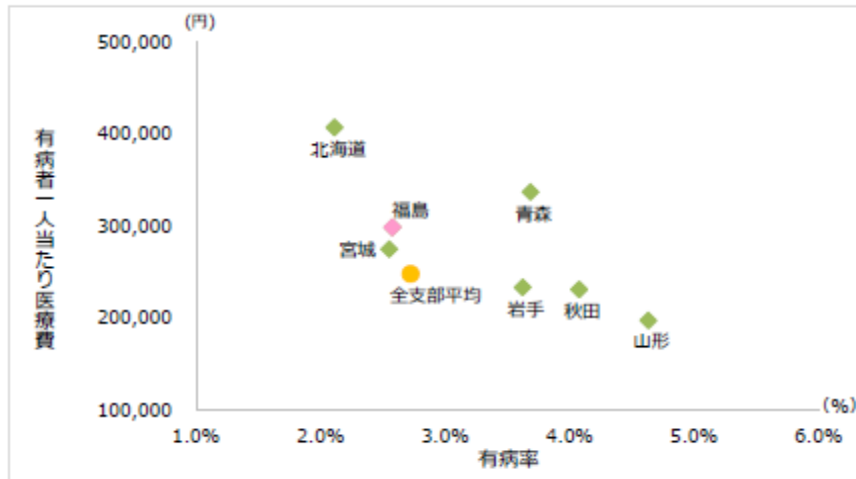


加入者一人当たり医療費の増減傾向（平成29年度～令和3年度）

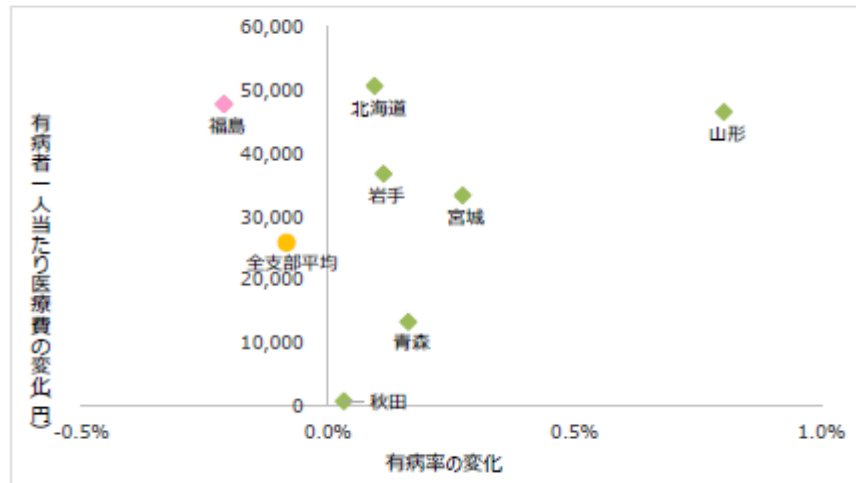




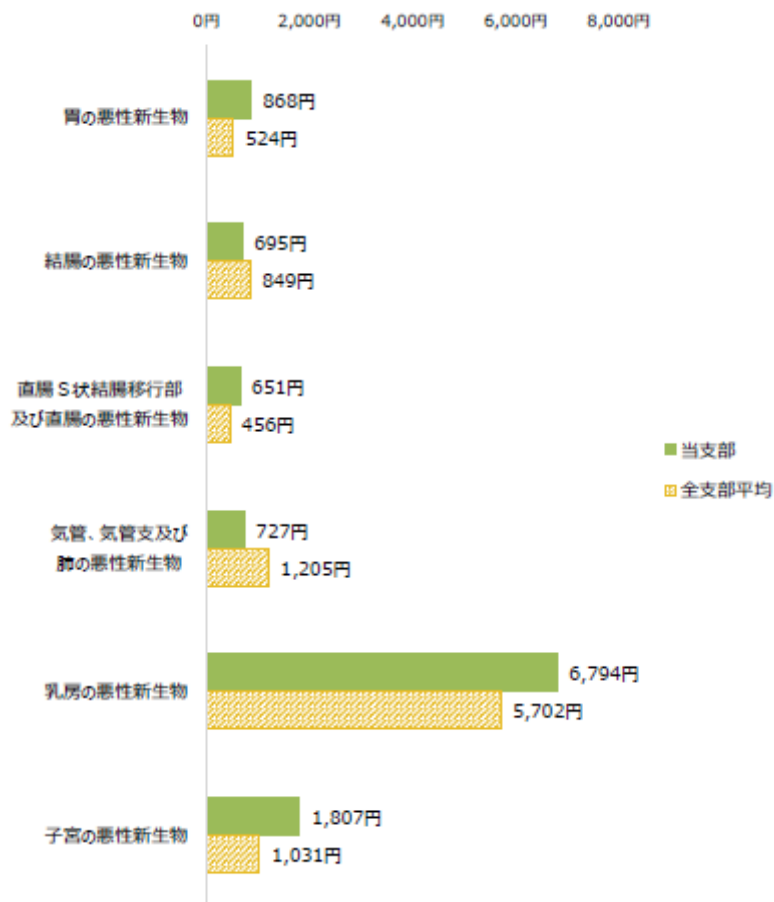
悪性新生物における有病者率と有病者一人当たり医療費の比較（令和3年度）



悪性新生物における有病者率と有病者一人当たり医療費の推移（平成29年度⇒令和3年度）



悪性新生物における疾病別加入者一人当たり医療費（令和3年度）





悪性新生物における疾病別加入者一人当たり医療費の経年変化（平成29年度⇒令和3年度）

	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	傾向 (平成29年度比)
胃の悪性新生物	848円	954円	875円	644円	868円	-	→ 20円
結腸の悪性新生物	770円	1,037円	1,002円	702円	695円	-	↓ △75円
直腸S状結腸移行部 及び直腸の悪性新生物	349円	187円	517円	622円	651円	-	↑ 302円
気管、気管支及び 肺の悪性新生物	1,327円	1,762円	1,620円	1,453円	727円	-	↓ △600円
乳癌の悪性新生物	5,890円	5,776円	6,091円	6,567円	6,794円	-	↑ 903円
子宮の悪性新生物	912円	1,020円	745円	816円	1,807円	-	↑ 894円

悪性新生物における有病者率（平成29年度⇒令和3年度）

	有病者率						
	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	傾向
胃の悪性新生物	0.44%	0.45%	0.46%	0.34%	0.41%	—	↓
結腸の悪性新生物	0.65%	0.60%	0.58%	0.58%	0.56%	—	↓
直腸 S 状結腸移行部 及び直腸の悪性新生物	0.06%	0.06%	0.07%	0.07%	0.09%	—	↑
気管、気管支及び 肺の悪性新生物	0.22%	0.22%	0.24%	0.23%	0.18%	—	↓
乳房の悪性新生物	2.18%	2.08%	1.93%	1.88%	1.92%	—	↓
子宮の悪性新生物	0.58%	0.56%	0.61%	0.55%	0.67%	—	↑

悪性新生物における有病者一人当たり医療費の変化（平成29年度⇒令和3年度）

	有病者一人当たり医療費						
	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	増減
胃の悪性新生物	192,056円	211,690円	189,963円	187,146円	211,002円	—	18,946円
結腸の悪性新生物	118,552円	173,143円	173,314円	120,484円	124,892円	—	6,341円
直腸 S 状結腸移行部 及び直腸の悪性新生物	552,587円	317,453円	785,224円	882,596円	719,112円	—	166,525円
気管、気管支及び 肺の悪性新生物	612,540円	817,633円	682,081円	631,085円	401,701円	—	△210,839円
乳房の悪性新生物	270,553円	277,852円	316,286円	348,922円	353,674円	—	83,121円
子宮の悪性新生物	156,682円	181,833円	122,357円	149,200円	270,927円	—	114,245円

## STEP 2 健康課題の抽出

No.	STEP1 対応項目	基本分析による現状把握から見える主な健康課題		対策の方向性	優先すべき課題
1	ア, イ, ウ, エ, オ, コ, サ	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人当たりの医療費は、全支部平均より糖尿病、脂質異常症、高血圧性疾患、脳内出血、動脈硬化（症）が高い</li> <li>有病者率は、脳内出血は全支部平均は減少しているのに対し、当支部では増加傾向</li> <li>糖尿病、高血圧性疾患、動脈硬化（症）は全支部平均では横ばいなのに対し、当支部では増加傾向</li> <li>「血圧」のコントロール不良者は、全支部平均より高い</li> <li>「血糖」の異常放置者は、全支部平均より高い</li> </ul>	➔	栄養・食生活に係る生活習慣の改善を図るための意識啓発、自助努力に係る支援等に資する事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>健康ポータルサイトを利用したインセンティブ事業</li> <li>体質改善セミナーの開催</li> <li>支部広報誌等を活用し意識啓発をする</li> </ul>	
2	カ	<ul style="list-style-type: none"> <li>「1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施していない者の割合」、「歩行または同等の身体活動を1日1時間以上実施していない者」が、全支部平均より男女共に高い</li> <li>内臓脂肪症候群該当者割合が増加傾向</li> </ul>	➔	身体活動・運動に係る生活習慣の改善を図るための意識啓発 <ul style="list-style-type: none"> <li>健康ポータルサイトを利用したインセンティブ事業</li> <li>体質改善セミナーの開催</li> </ul>	✓
3	ウ, エ, オ, カ	<ul style="list-style-type: none"> <li>アルコール性肝疾患の医療費は全支部平均より高い</li> <li>加入者一人当たり医療費、有病者率及び有病者一人当たり医療費は増加傾向</li> <li>「生活習慣のリスクを高める飲酒をしている者（飲む頻度、飲酒量）」が、全支部平均より男女共に高い</li> </ul>	➔	飲酒に係る生活習慣の改善を図るための意識啓発、自助努力に係る支援等に資する事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>支部広報誌等を活用し意識啓発をする</li> <li>健康ポータルサイトを利用したインセンティブ事業</li> <li>体質改善セミナーの開催</li> </ul>	✓
4	シ, ス, セ, ソ, タ	<ul style="list-style-type: none"> <li>悪性新生物の医療費、加入者一人当たり医療費は全支部平均より高い</li> <li>経年変化では、有病率は全支部平均より減少しているものの、加入者一人当たり医療費は全支部平均より増加傾向</li> <li>特に「直腸s字結腸移行部及び直腸」「子宮」の医療費が高く、医療費及び有病率の経年変化は増加傾向</li> </ul>	➔	公立共済モデルを参考とした5大がん検診の効果的・効率的な実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>支部広報誌等を活用し意識啓発をする</li> <li>健康ポータルサイトを利用したインセンティブ事業</li> </ul>	

## 基本情報

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>組合員は、男性より女性の割合が高く（9.3ポイント上回る）、平均年齢は男性より女性が低い（3.1歳下回る）</li> <li>扶養者の総数は男性より女性の数が多い、年齢別でみると0～24歳では男性が多く、25歳以降は女性が多くなる</li> </ul>	➔	女性の健康づくり（乳・子宮がん検診等）

## 保健事業の実施状況

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>運動習慣がない者が多い</li> <li>内臓脂肪症候群該当者割合が増加傾向</li> </ul>	➔	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康ポータルサイトを利用したインセンティブ事業（運動習慣作りの支援）</li> <li>体質改善セミナーの開催</li> <li>若年層の人間ドック</li> </ul>

・特定保健指導利用者が目標値に達していない



- ・特定保健指導の利用率及び終了者率
- ・事業主との連携
- ・人間ドック即日指導ができる医療機関の拡充

## STEP 3 保健事業の実施計画

### 事業全体の目的

運動習慣がある者を増やし、内臓脂肪症候群に該当する者を減少させる

### 事業全体の目標

- ・内臓脂肪症候群割合の減少
- ・運動習慣の定着
- ・若年層の健康リテラシーの向上

### 事業の一覧

#### 職場環境の整備

予算措置なし	コラボヘルス
--------	--------

#### 加入者への意識づけ

健康管理事業費	若年層への健康リテラシー向上及び健康づくり
---------	-----------------------

#### 個別の事業

特定健康診査費	特定健康診査
---------	--------

特定保健指導費	特定保健指導
---------	--------

健康管理事業費	健診等の効果的・効率的な実施
---------	----------------

健康管理事業費	5大がん検診の効果的・効率的な実施
---------	-------------------

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。



予算科目	注1) 事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連		
				事業主	性別	年齢	対象者						実施計画								
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度			令和11年度	
アウトプット指標												アウトカム指標									
職場環境の整備																					
予算措置なし	1,2	既存	コラボヘルス	全て	男女	18～(上限なし)	加入者全員	3	ア,ウ,ケ,ス	・管理職が出席する研修会、会議等で共済事業説明 ・教育委員会と支部担当を兼務することで、事業の把握ができる ・インセンティブ事業において、ウォーキングイベント参加の健康ポイント付与	ア	・教育委員会と支部が連携して、所属所に働きかける ・インセンティブ事業(外部委託)	・管理職が出席する研修会、会議等で共済事業説明 ・インセンティブ事業において、ウォーキングイベント参加の健康ポイント付与	同左	同左	同左	同左	同左	同左	・一人当たりの医療費は、全支部平均より糖尿病、脂質異常症、高血圧性疾患、脳内出血、動脈硬化(症)が高い ・有病者率は、脳内出血は全支部平均は減少しているのに対し、当支部では増加傾向 ・糖尿病、高血圧性疾患、動脈硬化(症)は全支部平均では横ばいなのに対し、当支部では増加傾向 ・「血圧」のコントロール不良者は、全支部平均より高い ・「血糖」の異常放置者は、全支部平均より高い	
健康スコアリングレポート等配布率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：50.0% 令和7年度：60.0% 令和8年度：70.0% 令和9年度：80.0% 令和10年度：90.0% 令和11年度：100.0%)公立学校共済組合の組合員及び被扶養者に係る健康課題を事業主(教育委員会等)へ共有するため、健康スコアリングレポート等を提供した割合等。												アンケートによる健康課題共有率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：50.0% 令和7年度：60.0% 令和8年度：70.0% 令和9年度：80.0% 令和10年度：90.0% 令和11年度：100.0%)健康スコアリングレポート等を配布した後、打合せを実施した・アンケートを受領した等健康課題について共有する何らかの場を設けた事業主の割合									
加入者への意識づけ																					
健康管理事業費	2,3,4	既存	若年層への健康リテラシー向上及び健康づくり	全て	男女	18～40	加入者全員	3	ス	・若年者対象メンタルヘルスセミナー ・若年層人間ドック(満35・38歳) ・若年層脳ドック(満35・38歳) ・若年層人間ドック受診者のうち要注意異常の所見の者に個別に健康情報提供	シ	・セミナー開催 ・ドック個別契約 ・支部広報誌掲載	・セミナー開催 ・ドック受診勧奨 ・人間ドック受診者のうち要注意異常の所見の者に個別にリーフレット配布	同左	同左	同左	同左	同左	・健康意識の改善によるメタボリックシンドロームの予防 ・運動習慣の定着	・「1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施していない者の割合」、「歩行または同等の身体活動を1日1時間以上実施していない者」が、全支部平均より男女共に高い ・内臓脂肪症候群該当者割合が増加傾向	
若年層の健診情報受領率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：50.0% 令和7年度：60.0% 令和8年度：70.0% 令和9年度：80.0% 令和10年度：90.0% 令和11年度：100.0%)若年層の事業主健診の結果について、教育委員会等から受領した率。												40歳の内臓脂肪症候群該当者割合(【実績値】 6.5% 【目標値】 令和6年度：6.3% 令和7年度：6.0% 令和8年度：5.8% 令和9年度：5.5% 令和10年度：5.3% 令和11年度：5.0%)年0.25の減見込み(R4年度全国平均を目標)									
個別の事業																					
特定健康診査費	3,4	既存(法定)	特定健康診査	全て	男女	40～74	加入者全員	3	ア,ウ,エ,ク,ケ,サ,ス	・健康ポータルサイトの活用 ・支部広報誌に掲載 ・事業主健康診断の結果を健診実施機関からXMLデータ受領 ・各所属の受診状況の報告に基づき所属長が受診勧奨(県) ・インセンティブ事業において、問診及び結果に基づき健康ポイント付与	ア,ウ,エ,オ,カ	・健康ポータルサイト(外部委託) ・「特定健康診査に係る健康診断の記録の提供等に関する覚書」を締結し、受診記録の提供を受ける ・「特定健診データ作成、送付等に係る費用の詳細について」を締結し、費用を定めている ・各所属に事業主健診の実施状況を紹介する(県) ・インセンティブ事業(外部委託) ・セット券、受診勧奨ハガキの発行(本部一括契約) ・40歳未受診者に支部から健康情報と共に受診勧奨通知 ・支部広報誌掲載	・定期健康診査、人間ドック受診結果を受領 ・データ授受に関する覚書の締結 ・健康ポータルサイトを活用し、イベントにおいて健康ポイントを付与 ・自宅にセット券送付 ・他制度で受診した場合、健診結果送付用の返信用封筒の同封 ・未受診者に受診勧奨ハガキの送付 ・支部広報誌に受診の案内を掲載 ・受診者に健康冊子の配布	同左	同左	同左	同左	同左	・内臓脂肪症候群該当者割合の減少 ・運動習慣の定着	・「1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施していない者の割合」、「歩行または同等の身体活動を1日1時間以上実施していない者」が、全支部平均より男女共に高い ・内臓脂肪症候群該当者割合が増加傾向	
特定健診実施率(【実績値】 84.8% 【目標値】 令和6年度：88.8% 令和7年度：89.0% 令和8年度：89.3% 令和9年度：89.5% 令和10年度：89.8% 令和11年度：90.0%)内臓脂肪症候群該当者及び予備軍をスクリーニングし、必要な働きかけをする起点となるのが特定健診であり、特定健康実施率は保健事業を進めるための基盤となるアウトプット指標。												内臓脂肪症候群該当者割合(【実績値】 14.6% 【目標値】 令和6年度：13.9% 令和7年度：13.2% 令和8年度：12.5% 令和9年度：11.8% 令和10年度：11.0% 令和11年度：10.0%)内臓肥満に高血圧・高血糖・脂質代謝異常が組み合わさることにより、心臓病や脳卒中になりやすい病態を持つ人、つまり内臓脂肪症候群該当者の割合を表す。内臓脂肪症候群外装者割合の減少が、特定健診・保健指導を通じた目的とされている。									

予算科目	注1) 事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連		
				事業主	性別	年齢	対象者						実施計画								
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度			令和11年度	
アウトプット指標												アウトカム指標									
特定保健指導費	4	既存(法定)	特定保健指導	全て	男女	40～74	基準該当者	1	ア,ウ,エ,ク,サ	・学校訪問型、個別訪問型(本部一括契約) ・個別契約(人間ドック即日指導) ・集合A、B医療機関 ・職専免で利用 ・所属長宛に人間ドック即日利用者を通知し、継続して利用できるよう依頼 ・インセンティブ事業において、利用者、終了者に健康ポイント付与  ・セット券の発券、当日指導以外の方には、利用券を発券 ・個別訪問型(本部一括契約) ・個別契約(人間ドック即日指導) ・集合A、B医療機関	ア,ウ,カ	・学校訪問型、個別訪問型(本部一括契約) ・個別契約(人間ドック即日指導、ドック申込案内時に周知) ・集合A、B医療機関 ・職専免で利用 ・再勧奨リーフレット送付 ・インセンティブ事業(外部委託)  ・個別訪問型(本部一括契約) ・個別契約(配偶者人間ドック即日指導) ・集合A、B医療機関	・学校訪問型と個別訪問を選択可 ・ICTによる面接可 ・人間ドック即日指導(申し込み案内時に勧奨) ・途中終了者及び辞退者に再勧奨のリーフレットを送付 ・インセンティブ事業において、利用者、終了者に健康ポイント付与  ・セット券の発行 ・配偶者人間ドック即日指導 ・ICTによる面接可	同左	同左	同左	同左	同左	同左	・内臓脂肪症候群該当者割合の減少 ・特定保健指導該当者の減少	・「1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施していない者の割合」、「歩行または同等の身体活動を1日1時間以上実施していない者」が、全支部平均より男女共に高い ・内臓脂肪症候群該当者割合が増加傾向
特定保健指導実施率(【実績値】39.9% 【目標値】令和6年度：41.8% 令和7年度：45.4% 令和8年度：49.1% 令和9年度：52.7% 令和10年度：56.4% 令和11年度：60.0%)特定保健指導対象者のうちプログラムに参加し、終了した人の割合を示す。特定保健指導の効果を上げるには、プログラムへの参加及び継続を促すことが大切であり、終了者の割合を高める方法・体制を探る上で活用できる。												特定保健指導による特定保健指導者の減少率(【実績値】26.4% 【目標値】令和6年度：29.0% 令和7年度：31.0% 令和8年度：33.0% 令和9年度：35.0% 令和10年度：37.0% 令和11年度：40.0%)特定保健指導による直接的な成果を評価しているもの。特定保健指導の効果的な方法・体制を工夫したり、対象者の属性や働き方に応じた指導を探るために活用できる。									

健康管理事業費	4	既存	健診等の効果的・効率的な実施	全て	男女	18～(上限なし)	基準該当者	3	ウ,ケ,サ	・個別契約 ・教職員人間ドック(満35・38・40・43・45・48・50・53・55・58歳、61歳以上) ・配偶者人間ドック(満35歳以上の被扶養配偶者) ・脳ドック(満35・38・40・43・45・48・50・53・55・58歳、61歳以上)	ア,カ	・個別契約 ・職専免で受診 ・支部広報誌掲載	・支部広報誌に受診の案内を掲載	同左	同左	同左	同左	同左	・内臓脂肪症候群該当者割合の減少	・「1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施していない者の割合」、「歩行または同等の身体活動を1日1時間以上実施していない者」が、全支部平均より男女共に高い ・内臓脂肪症候群該当者割合が増加傾向
受診勧奨対象者の医療機関受診率(【実績値】67.6% 【目標値】令和6年度：71.3% 令和7年度：71.7% 令和8年度：73.8% 令和9年度：75.8% 令和10年度：77.9% 令和11年度：80.0%)健診等(特定健診及び人間ドック(特ドック含む))の結果から、医療機関への受診が必要な者を把握して受診勧奨を実施し、当該対象者がその後医療機関を受診した率。												内臓脂肪症候群該当者割合(【実績値】14.6% 【目標値】令和6年度：13.9% 令和7年度：13.2% 令和8年度：12.5% 令和9年度：11.8% 令和10年度：11.1% 令和11年度：10.0%)内臓脂肪症候群該当者割合								
4	既存	5大がん検診の効果的・効率的な実施	全て	男女	20～(上限なし)	基準該当者	1	ウ,ク,シ	・大腸がん検診(満35歳以上) ・乳がん(満40歳以上)、子宮がん(満20歳以上)検診 ・肺がん検診(満40歳以上) ・胃がん検診(満30・33歳) ・インセンティブ事業において、受診者に健康ポイント付与 ・被扶養者には市町村が実施する	ア,カ	・個別契約 ・結果送付時に精密検査受診結果ハガキを同封し、受診勧奨 ・職専免で受診 ・インセンティブ事業(外部委託) ・支部広報誌掲載	・支部広報誌に受診の案内を掲載 ・インセンティブ事業において、受診者に健康ポイント付与	同左	同左	同左	同左	同左	・がん検診受診率の増加	・悪性新生物の医療費、加入者一人当たり医療費は全支部平均より高い ・経年変化では、有病率は全支部平均より減少しているものの、加入者一人当たり医療費は全支部平均より増加傾向 ・特に「直腸s字結腸移行部及び直腸」「子宮」の医療費が高く、医療費及び有病率の経年変化は増加傾向	
5大がん精密検査受診率(【実績値】 - 【目標値】令和6年度：20.0% 令和7年度：30.0% 令和8年度：40.0% 令和9年度：50.0% 令和10年度：70.0% 令和11年度：90.0%)5大がん検診の結果が要精密検査だった者が、実際に精密検査を受けた率。												(アウトカムは設定されていません)								

注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導・受診勧奨 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 後発医薬品の使用促進 8. その他の事業

注2) 1. 共済組合 2. 事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3. 共済組合と事業主との共同事業

注3) ア. 加入者等へのインセンティブを付与 イ. 受診状況の確認(要医療者・要精密検査者の医療機関受診状況) ウ. 受診状況の確認(がん検診・歯科健診の受診状況) エ. ICTの活用 オ. 専門職による健診結果の説明 カ. 他の保険者と共同で集計データを持ち寄って分析を実施 キ. 定量的な効果検証の実施

ク. 対象者の抽出(優先順位づけ、事業主の選定など) ケ. 参加の促進(選択制、事業主の協力、参加状況のモニタリング、環境整備) コ. 健診当日の面談実施・健診受診の動線活用 サ. 就業時間内も実施可(事業主と合意) シ. 保険者以外が実施したがん検診のデータを活用 ス. その他

注4) ア. 事業主との連携体制の構築 イ. 産業医または産業保健師との連携体制の構築 ウ. 外部委託先の専門職との連携体制の構築 エ. 他の保険者との健診データの連携体制の構築 オ. 自治体との連携体制の構築 カ. 医療機関・健診機関との連携体制の構築 キ. 保険者協議会との連携体制の構築 ク. その他の団体との連携体制の構築

ケ. 保険者内の専門職の活用(共同設置保健師等を含む) コ. 運営マニュアルの整備(業務フローの整理) サ. 人材確保・教育(ケースカンファレンス/ライブラリーの設置) シ. その他